

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	腎生検で診断の得られた足細胞陥入糸球体症の疾患概念の確立と臨床像および病理学的特徴の検討
所属科*	腎臓内科
研究責任者*	長門谷 克之
研究実施期間	開始 西暦 2025 年 10 月 1 日 ~ 終了 西暦 2028 年 3 月 31 日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	足細胞陥入糸球体症 (数症例<現状で2症例、今後新たに症例が出たとしても、おそらく5症例未満>)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 1991 年 1 月 1 日 ~ 至 西暦 2027 年 3 月 31 日
研究概要*	腎臓は血液を濾過し、尿を産生する機能を担っている。その濾過機能を担う糸球体という部分を構成する細胞のひとつに足細胞が存在するが、この足細胞の異常は蛋白尿の原因となりネフローゼ症候群の原因となる。 足細胞陥入糸球体症は近年日本でその疾患概念が提唱され、電子顕微鏡観察にて、足細胞の足突起が基底膜に陥入してしまう足細胞に異常が生じる疾患である。まれな疾患であり、その原因や病態はいまだ不明であり、その長期予後に関しても分かっていない。 今回、日本全国で症例を集積し当該疾患の詳細を明らかにする研究が行われるため、当院で足細胞陥入糸球体症と診断された症例の臨床情報並びに腎生検結果を提供する。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署（施設・研究室）で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院 腎臓内科

* 記入必須項目